



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミツバ

コード番号 7280

URL <https://www.mitsuba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長瀬 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 武井 良明

(TEL) 0277-52-0113

四半期報告書提出予定日 2019年8月7日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	78,818	△4.9	2,419	△33.1	1,976	△46.5	△214	—
2019年3月期第1四半期	82,873	△0.3	3,614	△21.3	3,696	△25.1	△223	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △4,474百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 1,137百万円(△12.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△4.79	—
2019年3月期第1四半期	△4.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	339,267	67,194	15.2
2019年3月期	334,679	72,738	17.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 51,686百万円 2019年3月期 56,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	164,000	△0.3	5,000	△18.4	5,000	△18.6	700	—	15.64
通期	335,000	0.5	12,000	9.5	12,000	12.0	3,500	—	78.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	45,581,809株	2019年3月期	45,581,809株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	824,089株	2019年3月期	824,079株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	44,757,728株	2019年3月期1Q	44,758,143株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易協定の長期化により、中国経済の動向、各国政策の不確実性等により、減速懸念が強まるところとなりました。米国では雇用環境の改善が続き、景気の回復が継続しました。中国は米中貿易摩擦の影響や内需鈍化により経済成長が減速。また、欧州では英国のEU離脱問題、アジア新興国経済の動きも弱くなりました。一方、我が国の経済は、世界経済の減速懸念から輸出の弱含みの中、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復となりました。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は788億18百万円（前年同期比4.9%減）、連結営業利益は24億19百万円（前年同期比33.1%減）、連結経常利益は19億76百万円（前年同期比46.5%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、2億14百万円（前年同期は2億23百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業の売上高は755億9百万円（前年同期比5.3%減）となり、セグメント利益は22億47百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

情報サービス事業の売上高は30億6百万円（前年同期比13.5%増）となり、セグメント利益は92百万円（前年同期は40百万円のセグメント損失）となりました。

その他事業の売上高は15億35百万円（前年同期比1.2%減）となり、セグメント利益は72百万円（前年同期比40.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、3,392億67百万円（前連結会計年度末3,346億79百万円）となり、45億87百万円増加しました。流動資産は1,921億23百万円となり51億61百万円増加し、固定資産は、1,471億43百万円となり5億73百万円減少しました。

流動資産は、現金及び預金が117億39百万円増加したことが主な要因です。固定資産は、投資有価証券が15億87百万円減少したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,720億73百万円（前連結会計年度末2,619億41百万円）となり、101億32百万円増加しました。流動負債は、1,298億64百万円となり52億11百万円増加し、固定負債は1,422億9百万円となり49億20百万円増加しました。

流動負債は、短期借入金が53億58百万円増加したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金が53億35百万円増加したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、671億94百万円（前連結会計年度末727億38百万円）となり、55億44百万円減少しました。これは為替換算調整勘定の減少が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ100億80百万円増加し681億76百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、109億84百万円（前年同期は97億30百万円）となりました。この主な要因は、売上債権の増減額19億66百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、96億15百万円（前年同期は71億45百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出77億59百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、96億58百万円（前年同期は36億9百万円の支出）となりました。この主な要因は、短期借入金の純増減額65億3百万円と、長期借入れによる収入60億80百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)連結業績予想につきましては、2019年5月8日に発表した予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,672	73,412
受取手形及び売掛金	53,386	49,840
有価証券	99	99
商品及び製品	12,748	11,448
仕掛品	6,801	7,112
原材料及び貯蔵品	30,568	30,568
その他	21,714	19,670
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	186,962	192,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,917	76,077
減価償却累計額	△45,291	△46,435
建物及び構築物(純額)	29,626	29,641
機械装置及び運搬具	150,841	148,413
減価償却累計額	△112,108	△111,097
機械装置及び運搬具(純額)	38,732	37,315
工具、器具及び備品	53,114	52,227
減価償却累計額	△47,635	△46,809
工具、器具及び備品(純額)	5,479	5,417
土地	7,455	7,969
リース資産	6,004	5,920
減価償却累計額	△2,693	△2,712
リース資産(純額)	3,310	3,207
建設仮勘定	21,107	23,876
有形固定資産合計	105,712	107,428
無形固定資産		
ソフトウェア	1,786	1,893
ソフトウェア仮勘定	229	40
その他	1,965	1,908
無形固定資産合計	3,981	3,842
投資その他の資産		
投資有価証券	18,593	17,006
長期貸付金	2,263	2,223
繰延税金資産	2,425	2,310
長期前払費用	2,569	1,800
退職給付に係る資産	10,613	11,013
その他	1,572	1,533
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	38,023	35,873
固定資産合計	147,717	147,143
資産合計	334,679	339,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,062	25,875
短期借入金	59,277	64,636
未払金及び未払費用	21,893	20,808
未払法人税等	1,791	1,256
賞与引当金	4,725	7,123
役員賞与引当金	81	134
製品保証引当金	1,865	1,418
和解金等引当金	825	825
その他の引当金	979	1,053
その他	7,148	6,731
流動負債合計	124,652	129,864
固定負債		
長期借入金	122,932	128,267
長期末払金	456	347
繰延税金負債	6,789	6,675
退職給付に係る負債	1,638	1,730
その他	5,471	5,187
固定負債合計	137,288	142,209
負債合計	261,941	272,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,572	15,574
利益剰余金	36,096	35,166
自己株式	△602	△602
株主資本合計	60,951	60,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	△379
為替換算調整勘定	△4,265	△7,667
退職給付に係る調整累計額	△380	△289
その他の包括利益累計額合計	△3,980	△8,336
非支配株主持分	15,767	15,507
純資産合計	72,738	67,194
負債純資産合計	334,679	339,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	82,873	78,818
売上原価	70,542	68,677
売上総利益	12,330	10,141
販売費及び一般管理費	8,716	7,721
営業利益	3,614	2,419
営業外収益		
受取利息	213	163
受取配当金	196	248
持分法による投資利益	288	230
その他	244	278
営業外収益合計	942	921
営業外費用		
支払利息	390	485
為替差損	253	570
その他	216	307
営業外費用合計	861	1,363
経常利益	3,696	1,976
特別利益		
固定資産売却益	32	8
投資有価証券売却益	69	0
その他	6	8
特別利益合計	107	18
特別損失		
固定資産除却損	32	11
減損損失	0	1
投資有価証券評価損	—	154
取引調査関連損失	116	29
和解金	1,658	—
その他	137	83
特別損失合計	1,943	280
税金等調整前四半期純利益	1,859	1,714
法人税等	1,438	1,404
四半期純利益	420	309
非支配株主に帰属する四半期純利益	643	523
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△223	△214

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	420	309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△823	△1,050
為替換算調整勘定	1,574	△3,905
退職給付に係る調整額	8	82
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	90
その他の包括利益合計	716	△4,783
四半期包括利益	1,137	△4,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	537	△4,570
非支配株主に係る四半期包括利益	599	95

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,859	1,714
減価償却費	4,096	3,809
受取利息及び受取配当金	△410	△411
支払利息	390	485
持分法による投資損益(△は益)	△288	△230
有形固定資産売却損益(△は益)	△31	△6
売上債権の増減額(△は増加)	3,033	1,966
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,417	△306
仕入債務の増減額(△は減少)	△822	1,055
その他	6,711	4,664
小計	11,121	12,741
利息及び配当金の受取額	429	324
利息の支払額	△226	△291
法人税等の支払額	△1,594	△1,788
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,730	10,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,984	△7,759
有形固定資産の売却による収入	402	195
投資有価証券の取得による支出	△12	△72
貸付けによる支出	△517	△624
貸付金の回収による収入	458	421
その他	△1,491	△1,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,145	△9,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,598	6,503
長期借入れによる収入	1,195	6,080
長期借入金の返済による支出	△1,435	△1,221
配当金の支払額	△716	△716
非支配株主への配当金の支払額	△494	△353
その他	△561	△633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,609	9,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	△134	△946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,159	10,080
現金及び現金同等物の期首残高	76,278	58,096
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,224	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,343	68,176

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の海外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

IFRS第16号の適用により、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社では主に定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、グループ会計方針の統一及び、より適正な期間損益計算の観点から減価償却方法について再検討したところ、過去の投資及び使用実績、将来の投資及び使用計画等から、有形固定資産は耐用年数内で長期安定的に稼働することが見込まれることにより、定額法を採用することが有形固定資産の実態をより適正に反映する合理的な方法であると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3億24百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	79,611	2,217	1,044	82,873	—	82,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	157	431	510	1,099	△1,099	—
計	79,768	2,649	1,554	83,972	△1,099	82,873
セグメント利益(又はセグメント損失)	3,553	△40	121	3,634	△20	3,614

(注) 1. セグメント利益の調整額△20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	75,362	2,487	968	78,818	—	78,818
セグメント間の内部売上高又は振替高	146	519	567	1,232	△1,232	—
計	75,509	3,006	1,535	80,051	△1,232	78,818
セグメント利益	2,247	92	72	2,413	6	2,419

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。